

鶺鴒新聞

なぜ鶺鴒を？

結果は？

自分達の身近にいる鶺鴒ですが、名前だけしか知りませんでした。紗穂乃の祖母の家に毎年鶺鴒が来ていて、いい機会だなと思って観察することになりました。

鶺鴒の天敵とは？

鶺鴒の天敵は蛇、イタチ、カラス、猫などです。今回はアオガイシヨウという蛇に食べられてしまいました。

鳥を守るためには

野鳥を守るために自分達ができることは何か調べてみました。

紗穂乃の祖母の家では、たまたま窓ガラスに鳥が当たって、くるそうです。今までは五回程度だったんですが、防ごうとガラスに貼るテープが、鳥が窓に当たるとテープが破れる原因は、外より室内の温度差が暗い時に発生する映り込みを防ぐ方法です。映り込みを防ぐ方法は、ガラスの裏面にテープを貼る、磨りガラスシートを貼るなどです。

鳥を守るためにやるべきことはまだたくさんあると思います。だからこそ自分達ができることを考えることが大事です。



警戒心が薄いた

鶺鴒観察スタート!

おー!!



5月18日 鶺鴒発見!



5月25日 巣作り中...



5月29日 卵ができた!



6月8日 3匹孵化!



6月11日 嘴がはきり!



6月10日 足が見えた!



6月9日 毛が生えた!



6月8日 4匹孵化!



6月11日 へびに雛が食べられた!! PM 01:20



6月11日 親鳥はよく見えて、雛をよきま。



6月11日 巣の中には雛が居ない。

やっぱり自然は大変!

今回の観察では雛が蛇に食べられてしまいました。その後も親鳥の姿が続いていました。成長して飛び立つ姿は、とても感動しました。豊かな自然があることで、鳥や動物達が命を繋いでいます。自然や動物達を守るためには、自分達が考えるために、火を使ったり、山火事を防いで動物達の住み家を守るために、野生の動物に餌を与えない。川や水が汚れて魚が住めなくなったり、洗剤は必要な分だけを流す。川や水が汚れて魚が住めなくなったり、洗剤は必要な分だけを流す。川や水が汚れて魚が住めなくなったり、洗剤は必要な分だけを流す。

編集後記

今回の観察では、鶺鴒の生態、自然界の大変さ、自然の守り方などです。今回の観察では、飛ぶ立つまでの記録をつけられなかったのが、次に観察する時は飛ぶ立つ所まで記録をとりたいです。鶺鴒の名前はなんだろうと興味を持ち、調べて知識を増やしたいです。